とよおか

平成29年度
第4号

日光市立
豊岡中学校

日光市芹沼
1958番地
0288-21-8215
発行責任者
校長　上吉原明夫

1学期を振り返って　校長　上吉原明夫

時がたつのは早いもので、平成29年度が始まって4ヶ月足らずが過ぎ、本日の終業式をもって1学期が終了しました。大きな事故や病気もなく、全員元気で夏休みが迎えられることをうれしく思います。

始業式と入学式に始まり、遠足や修学旅行、生徒会レクリエーションなど大きな行事がたくさんありました。行事のたびに各学級がまとまっていったように思います。また、春季大会や各種大会、フェスティバルなど、部活動の方も活躍の場が多く、各部とも一生懸命に取り組んでいました。しかしその一方で、心ない言動による友だち同士の諍いや、SNS等を介してのトラブルがあったのも事実です。

今の子どもたちは、「人の気持ちが想像できない」とか「心に耐性がない」とか、いろいろ言われています。だからこそ学校でいろいろな経験をさせたいと思っています。人の心を傷つけてしまったり、逆に傷ついたりして人の心がわかってくるものです。けんかやトラブルがあったときこそ成長のチャンスだと思っています。それを教師が素早くキャッチし、自分の言動のどこがいけないのかを共に考える。そうやって人との関わり方を学んでいかせたいと思っています。

また平成33年度から新しい学習指導要領が始まり、指導方法や内容が大きく変わります。それと同時に大学受験、そして高校受験も変わってきます。そこで今本校では、教師が一丸となって、33年に向けての授業改善に取り組んでいます。「教師が教える授業から、生徒が学ぶ授業へ」が合い言葉です。2学期以降さらに進めていきたいと思っています。ご家庭のさらなるご理解ご協力、よろしくお願いいたします。







人の想いは文字だけでは伝わらない！
親子情報モラル教室

7月11日の授業参観と学年PTAの際に、県総合教育センターの大山晃先生を講師にお迎えして、親子情報モラル教室を開催しました。

左は、大山先生からそのときお話をいただいた、実際に起きたLINEのトラブルの例です。何が原因かわかりますね。Aくんの「何で来るの？」の「何（なに）」を、Bくんは「なんでくるの？」と読んでしまったのです。

A：「今度○○と遊ぶんだ」
B：「僕も行っていい？」
A：「何で来るの？」
B：「……」

人が会話するとき、話している人の表情やしぐさ、言葉のニュアンスすべてで気持ちが伝わるものです。ところが、SNSのような文字だけの場合、真意が伝わらず、誤解を生じやすいのです。

スマホは確かにとても便利なアイテムです。でも便利で手軽であるからこそ、いろいろなトラブルが起きているのも事実です。この夏休みを機会に、スマホの功罪や使い方について、ぜひ親子で話し合ってみてください。



ウルトラマラソンにボランティアで参加

7月2日に行われた第1回日光市ウルトラマラソンに、豊中生が30名、ボランティアとして参加しました。

仕事の内容は、学区内4カ所の給水所での手伝いです。同じくボランティアの各自治会の方々と一体となって、走ってくる選手たちに、水や軽食を手渡すと共に、熱い声援を送っていました。



熱中症に注意！

7月18日現在、梅雨明けはまだにもかかわらず、暑い日が続いています。また長期予報によると、今年の夏は酷暑が続くそうです。熱中症対策は大丈夫ですか。

私もかつて夏の暑い日、管理釣り場で水分もとらず釣りに熱中し、腕が痙攣したのでふとまわりを見渡したら、視界が狭くなっていたということがありました。典型的な熱中症です。幸い近くに冷たい水と涼しい木陰があったため、大事にはいたりませんでした。

この暑い夏、みなさんも熱中症には十分注意してください。

自分の意見を持つことが大事！

校内意見発表会

７月６日に校内意見発表会を行いました。生徒全員が自分の今思っていることを作文に書き、各クラス代表１名が全校生の前で発表しました。

中学生の頃は、考えがしだいに深まり、いろいろな意見を持つようになるが、それを他に言うことに抵抗を感じる時期でもあります。この発表会を機に、自分の意見を整理し他に伝えることで、また他の意見を聞いて自分の考えと比較することで、さらに考えが深まり、成長につながっていくと思っています。

５人の発表者のみなさんは、自分の考えを堂々と発表してくれました。また聞いていた生徒のみなさんも、よく聞きいろいろなことを感じていたようです。中学生時代は、こうやって自分の視野を広め、成長していく時期なのだと思います。

今回の発表会で代表に選ばれた３年Ｙ.Ａさんは、８月26日に行われる少年の主張上都賀大会に、学校代表として出場します。ぜひがんばってください。


代表に決まった赤松さん

意見発表者
１年１組　Ｍ. Ｈさん
「言葉で苦しまないように」
１年２組　Ｈ. Ｗさん
「どうぞありがとうの一言で」
２年１組　Ｃ. Ｆさん
「親友でありライバル」
２年２組　Ｔ. Ｔさん
「逃げずに前へ」
３年１組　Ｙ. Ａさん
「読書の必要性」


意見発表会の様子

みなさんの感想から

自分も友だちづくりが苦手で、どうすれば友だちが増えるか考えました。（１年男子）

全員が堂々と自分の意見をしっかり言えていたのですごいと思う。人と人とのつながりの大切さを言った意見が多かった。すごく心に残る発表だった。（２年女子）

発表者の意見を、自分はどうだろうなどと考えながら聞くことができた。今回のみんなの意見を聞いて、これまでの自分の生活を見直していきたい。（２年男子）

みなさんの発表には説得力があり、自分で納得することが多くありました。人の考えを自分のこれからの生活に生かしていきたいです。（３年男子）

みんな自分の意見を持っていてすごいと思った。自分の意見をまわりに伝えることが大切だと思った。自分もこれから意見を伝えて、友だちとの関わりをもっと深めていきたい。（３年女子）

今年もたくさんできるかな？

農園活動

今年もステップ学級の生徒たちが、渡辺貞治さんと吉原正二さんのご指導のもと野菜を作っています。今年の野菜は、トマトとキュウリ、ナス、ジャガイモで、ジャガイモは先日収穫しました。２学期にはサツマイモとダイコンを植える予定です。

とれた野菜は、いつもの通り豊中祭で販売する予定です。ぜひ買いに来てください。



議論する道徳

前のページで平成33年から新しい学習指導要領に変わると書きましたが、道徳に関してはすでに一部分で先行実施されています。これまでひとつの領域であった道徳が教科の一部となり、特別な教科道徳」となります。



キーワードは「議論する道徳」です。世の中には、答えがひとつではないことがたくさんあります。むしろその方が多いのではないでしょうか。これが正しいと思ったことでも、視点を変えれば逆だったりします。そんな題材を用いて生徒に議論をさせ、正解よりも納得解を見つけさせる。そうやって生徒に思考力や判断力、道徳的実践力を身につけさせていくのがねらいです。

本校でも７月４日に１年１組で、道徳の研究授業を行いました。題材名は「キャッチボール」。野球の試合直前に練習ができず、本来やってはいけない公園でキャッチボールをした主人公について話し合いました。事前に１年２組でも同じ授業を行ったのですが、どちらの学級も生徒たちは熱心に議論をしていました。これからの道徳の授業が熱いです。

元気に外で！休み時間

昼休みになると最近、校庭から大きな歓声が聞こえます。校庭を見ると、あちこちで遊んでいる生徒の姿が見られます。サッカーやバレー、ドッチボールなど、１年生から３年生まで、いろいろなことをやって遊んでいます。とても元気よく、笑顔でいっぱいです。

５校時開始５分前のチャイムがなると、一斉に走って昇降口に向かいます。すごいぞ！豊中生！

